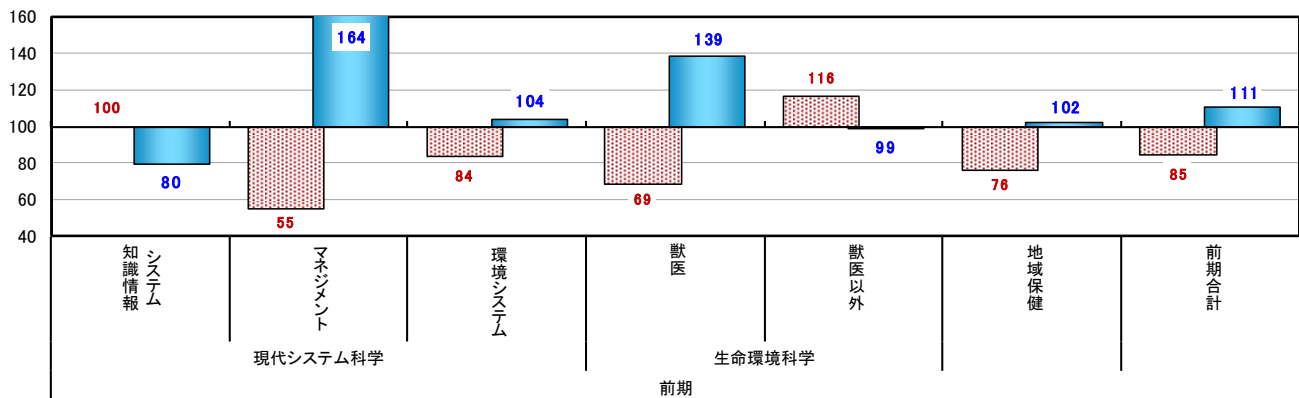


2021 年度入試状況分析【国公立大】

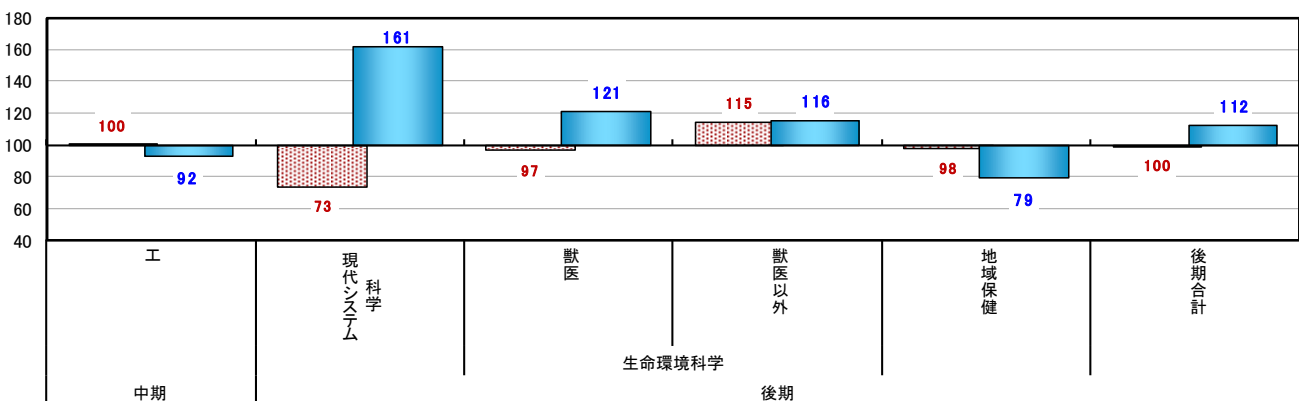
大阪府立大：前期・後期は増加、中期は減少 前期：+198人 中期：-380人 後期：+150人

※前年度の志願者数を100とする指数

□ 2020年度/2019年度 □ 2021年度/2020年度



※前年度の志願者数を100とする指数



入試変更点

選抜方法：地域保健(看護)〈前〉…受験区分を2区分〈理系型〉〈文系型〉に分割
 募集人員：生命環境科学(応用生命科学)…〈前〉70人→60人
 生命環境科学(緑地環境科学)…〈前〉32人→30人
 共通テスト：生命環境科学(緑地環境科学)〈後〉、(理化学重点)〈後〉…数2+理2+外→国+数2+理2+外
 生命環境科学(理数学重点)〈後〉…理2+外→国+理2+外
 生命環境科学(理物理重点)〈後〉…数2+外→国+数2+外
 生命環境科学(理生物重点)〈後〉…数2+理+外→国+数2+理+外
 地域保健(総合リハビリテーション/作業療法)〈後〉…数+外+(理 or 理基2)→国+数2+外
 地域保健(教育福祉)〈後〉…国+外+(歴公 or 数 or 理 or 理基2)→国+数+外+(歴公 or 理 or 理基2)
 個別試験：生命環境科学(理数学重点)〈前〉…数+理2+外 ※理：物 or 化 or 生→数+理2+外 ※理：物+化
 地域保健(看護)〈後〉…論→面

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、32人(100)の微減だが、3年連続減少。前期は前年度大幅減少の反動で198人(111)の増加。工のみ募集の中期は380人(92)の減少で、2013年度以降、前年度の反動による増減が継続した。学類別では、3学科全てが減少で、(機械)(87)が減少、(物質化学)(94)および(電気電子)(96)がやや減少。後期は3年連続減少の反動で150人(112)の増加。

<前期日程>

- 現代システム科学(123)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学類・方式別では、(マネジメント)(164)は前年度半減近い減少の反動で激増。一方で、(知能情報システム)(80)は大幅減少。(環境システム)(104)は受験型で対照的な増減で、〈英語小論文型〉(115)は大幅増加、〈理数型〉(85)は大幅減少。
- 生命環境科学(104)は、やや増加で2年連続増加。学類別では、(応用生命科学)(150)は大幅増加で2年連続増加。(獣医)(139)も大幅増加で、2011年度以降、前年度の反動による増減が継続。(理)(94)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少、募集単位別で増減が目立ったのは、〈生物重点〉(147)が大幅増加、〈化学重点〉(75)、〈物理重点〉(83)が大幅減少。(緑地環境科学)(51)は3年連続増加の反動で半減近い大幅減少。
- 地域保健(102)は、前年度大幅減少の反動はなく微増。学類・専攻別では、(総合リハビリテーション/理学療法)(123)、(総合リハビリテーション/栄養療法)(122)は大幅増加、一方で(教育福祉)(84)は大幅減少。募集単位を〈文系型〉と〈理系型〉に分けた(看護)は学類全体では(101)で前年度並。志願倍率は〈文系型〉が1.7倍、〈理系型〉が2.1倍で〈理系型〉の競争が厳しかった。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 現代システム科学(161)は、前年度大幅減少の反動で激増。
- 生命環境科学(117)は、2019年度の改組後2年連続増加。学類別では、(応用生命科学)(194)は2年連続減少の反動で激増、(獣医)(121)は3年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(緑地生産化学)(92)は前年度大幅増加の反動で減少。(理)(101)は学類全体では前年度大幅増加の反動はなく前年度並、募集単位別では大幅増減が目立ち、(化学重点)(139)、(物理重点)(137)はそれぞれ30%を超える大幅増加、一方で(数学重点)(40)は激減。
- 地域保健(79)は大幅減少で2年連続減少。学類・専攻別では、(教育福祉)(53)は2年連続増加の反動で大幅減少、(看護)(70)で4年ぶりの大幅減少、(総合リハビリテーション/栄養療法)(76)は大幅減少で3年連続減少。一方で、(総合リハビリテーション/理学療法)(179)は激増で2014年度以来の志願倍率が20倍を上回った。